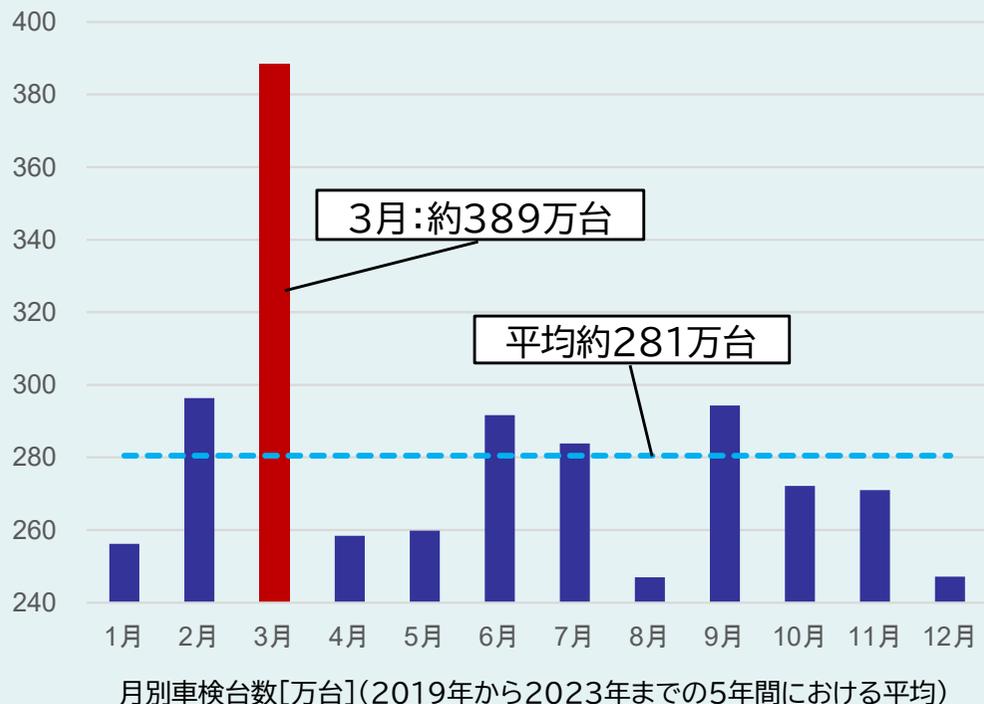


## 1. 月別の車検台数



## 2. 課題

- 3月における自動車整備業界の負担大
  - ・ 自動車整備士の残業・休日出勤増
  - ・ 期限内に整備を終えなければならない心理的負担
  - ・ 臨時従業員の確保 など
- 車検場、整備工場の混雑
  - ・ 自動車ユーザーが整備・検査をタイムリーに受けられない

## 3. 車検の受検可能期間の拡大(今回の対応策)

### 【現状】

- 車検証(旧車検証)の有効期限前1か月以内に受検すると、新車検証の有効期限を「旧車検証の有効期限から2年間」とすることができる。

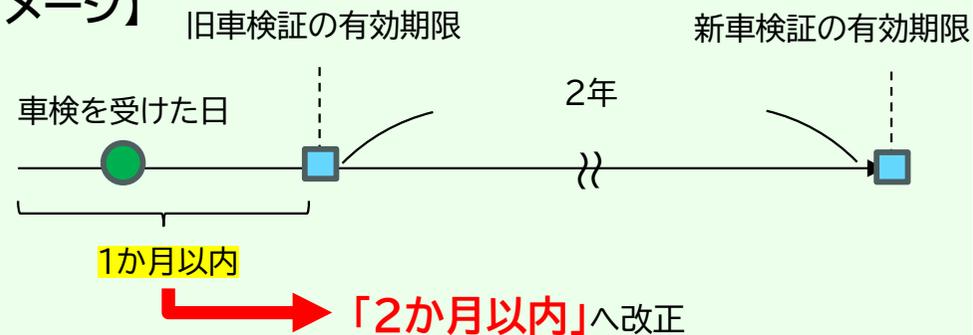
(例)旧車検証の有効期限が2024年5月25日であった場合

- ① 2024年4月30日に受検(1か月以内)  
→新車検証の有効期限は2026年5月25日
- ② 2024年4月15日に受検(1か月以上)  
→新車検証の有効期限は2026年4月14日

### 【今後】

- 車検証(旧車検証)の有効期限前2か月以内に受検すると、新車検証の有効期限を「旧車検証の有効期限から2年間」とすることができる。

### 【イメージ】



⇒ 3月の車検ピークを2月に平準化

(スケジュール)

公 布: 令和6年(2024年) 6月25日  
施 行: 令和7年(2025年) 4月1日